

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西
もろ
情報

No. 195
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田 2-6-25-113
TEL 090-3621-1509
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう

憲法9条改正は二段構えで

**改正の戦場は
国民投票の場**
船橋市 近藤将允
H29年10月31日

1. はじめに

過日家内の友人が我が家を訪れ「私、9条の会に入ったのよ」と、何か素晴らしいところに入ったような口ぶりであって家内を絶句させた。9条の会の素性を家内から聞いて今度はその奥さんが吃驚し、後日9条の会から抜けたとの電話があった。何処で勧誘されたのか聞いたところ、短歌の会の仲間からだという。もう一例は夫婦共々確り保守の知人であるが、こちらは定年後テニスの趣味の会に入った主人が、9条改正反対の署名を持ちかけられた。断るときつい皮肉を言われたそうである。

平成16年に大江健三郎、小田実、澤地久枝氏ら9人の左翼人士の呼びかけによって発足した「9条の会」は、平成23年には7500を数えるほどまでに勢力を伸ばし、公民館などの公共の施設を巧みに利用し国民を洗脳し続けている。9条団体の会、9条短歌の会、9条料理の会といったように、ごく普通の一般社会にこまんと存在する趣味の会、その他種々の会合にアメーバーの如く静かに、しかし確実に浸透している。対する保守勢力はいかなる運動を展開しているのか、以下そこから話を進めたい。

先般の衆議院選挙が示しているように、野党が国会の議席で三分の二を占める可能性はほとんどない。彼らは護憲の真の戦場を国会ではなく「国民投票の場」に定め行動している。

既述の事例がその事を証明している。いくら国会で審議を尽くし改憲派の満足のいく改正案が発議されたとしても、国民投票で一票差であっても負ければ改憲は水泡に帰す。護憲派はそこに狙いを定めているのである。翻って改憲派、保守勢力の現状はどうであろうか。

改憲派の学者や保守の論客が講演会やシンポジウムを開催し、時に保守系の月刊誌に寄稿したり、または保守運動の団体も講演会などを主催・共催し、更には会員向けに機関誌を発行したりして改憲のための啓蒙運動を実施している。この事を多とするに吝かではないがこの保守の運動には大きな問題点がある。包されている。自らの体験で言えることだが、これらの集会に参加したり、保守系の組織の会員になり機関誌を読み月刊誌を購読する層は、そもそも憲法改正の必要性を感じている国民なのである。少々乱暴な言いかたをすれば、同じ牌があちらの講演会、こちらのシンポジウムと渡り歩いているようなものである。つまり保守勢力の運動は、理論武装の強化には役立っても改憲のための啓蒙が必ずしも必要でない国民の層を相手に実施しているということである。



生活で憲法など関係ないと思いつつ、無縁の生活をしていく国民、憲法を変える戦争になると本心に素朴に信じている国民、公教育で子供のころから平和憲法と聞かされ続けて素晴らしいものだと無邪気に思っている国民、変えてはいけないものだと頭から思っている国民、このような多分多数派を占める国民の心には、残念ながらこの手の保守の運動は一切届かない。しかしこのように人たちが国民として等しく一票を持っているのである。

先に述べた9条の会を這うような運動に比べ、保守の油断と言わずして何となく、改憲のための啓蒙運動のリーダーたちは、先ずこの事に気が付かなければならない。多数派を占めると思われる上記の国民には、改憲派リーダーのお

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会 (理事長、辻淳子大阪市議員)」。2番艦が「英霊を被告にして委員会 (代表中村重行)」、3番艦が「憲法一条の会 (代表小野馨子)」。これらの団体に頂いたご意見等を M 情報の責任で発信しています。

◀M 情報活動報告▶編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

説は必要ない。それよりも何故憲法を改正しなければならぬのか、現行の9条は国家・国民の安全にとって何が問題なのかを、理解が行き届くよう平易に知らしめる方策が必要であり、その方策の実行なくして国民投票での勝利は得られない。戦後70年余、日本は一度も他国と干戈を交えることなく平和裏に過ごしてきた。そのこと自体は素晴らしいことではあるが、その平和が何によって齎されたのかについて考えを巡らせることなく時が流れ、そして、「安全と水はただ」と思う日本人になった。

このように危機に対する自己防衛本能すら希薄になった国民であるが、平和が何によって担保されているのかを問われると、9条の会の地道な運動と昔子供のように公教育で教わった平和憲法礼賛を思い出し、平和憲法のお蔭、9条のお蔭といった流れになる社会になった。本年の憲法記念日に自民党の安倍総裁は、9条の2項温存・3項追加の意表を突いた改正案を国民に提示した。この改正案の問題点については後に詳述するが、仮に安倍首相の改憲スケジュール通りに国会で発議され、国民投票の実施に至った場合、結果は惨憺たるものになると危惧している。かねがね憲法改正の流れは二段構えでなくてはならないと思っていた。自民党が改憲を目指すなら、先ず現在の保守勢力の啓蒙運動が効果的なのかどうかの検証と、国民の憲法に関する理解度の分析が不可欠である。その上で改憲の立場からの啓蒙運動を展開し、しかる後に改正案の発議をするのが順当な流れである。

3. 国民投票に勝利するため

(1) この運動は情報戦である。護憲派憲法学者、護憲派メディア、そして9条の会などが仕掛ける情報戦に洗脳され取り込まれた国民を改憲派に取り込むためには、こちらもそれを上回る情報戦を展開しなければならぬ。そのために相應の資金投入が必要である。

(2) 自民党が改憲を党是とするならば、**自民党のホームページに掲載された「私の家の一家の憲法改正ってなあに」を、二十万部製本化し、国民に無料で配布する。**

これは憲法改正に関するいろんなテーマについて、四世代の一家で侃々諤々の議論をしながら次第にその必要性について納得する過程を分かりやすく漫画で解説したもので、啓蒙運動の資料として最適である。

(3) 自民党議員による国民啓蒙のための街宣活動の実施

自民党は結党以来、憲法改正を党是としてきた政党である。それを承知で自民党の議員になったからには、積極的に街に出て国民に憲法改正の啓蒙運動を行うのは、議員としての当然の責務である。街宣の必要性は、選挙の時ばかりではない。第一次安倍政権で国民投票法が成立した。今次選挙で国会の議席は三分の二を超え民意は示された。

政権の長である首相は改憲の姿勢を明確にし、党総裁として9条改正の案も提示している。機は熟している。自民党議員挙げて街宣活動を発動すべきである。

4. 安倍総裁の9条改正案について

安倍総裁は、9条2項をそのままに、新たに3項を追加する案を提示した。改憲・護憲派を問わず国民の誰もが意外に思つたプライズ案である。この案は年来の安倍首相の政治姿勢、改憲への政治家としての信条とは相いれない内容である。推測にすぎないが、安倍首相は高度の政治決断をしたのであろう。苦渋の決断と言ったほうが適正かもしれない。

しかしこの提案があつてから程なく高村正彦副総裁と下村博文幹事長代行(当時)の両氏が産経の「単刀直言」で、自衛隊を現状の姿のまま憲法に明記するかのような主旨の発言をしていることを知った。このような発言を自民党の実力者である両氏が公にするのは、そのやり方に安倍首相も同意をしているとみるのが普通であらう。それは国際標準とは程遠いレベルでしか部隊運用ができない自衛隊、つまり多くの運用上の瑕疵を内包した現在の自衛隊をそのまま憲法に明記するという事に他ならない。果たしてこれが求められる9条改正の姿だと言えるのか。そもそも自衛隊のような巨大な武力組織を一般行政法で律している国など広い世界に日本以外に存在しない。どの国も軍隊は一般法の枠外として軍法によって運用している。これに対して日本は、国際社会で主権国家としてあり得ないことを70年間放置し続けてきたのである。

世界の軍隊は戦時国際法の枠内、俗にいうネガティブリスト方式で戦うが、自衛隊は一般法に書かれている範囲内でしか任務の遂行ができない。六法全書を抱えた軍隊で我が国の安全を担保出来るのか疑問である。中国や北朝鮮のよう

な異形の国、国際法無視の無法国家の現状を見るにつけ、我が国の戦略環境はかつてないほど厳しい状況に置かれている。そのような戦略環境にあつて我が国の安全・独立・国民の生命を守るには、憲法改正を契機として先ず自衛隊のような武力組織は本来どのような組織であるべきなのかの議論がなされるべきだと考えている。その議論の過程を経て、憲法上自衛隊を国際標準並みの存在に位置づけることが不可欠だとの立場をとっている。そして9条の改正には、下記の2点の達成が決定的に重要であると思つている。

(1) 自衛隊合憲・違憲の不毛の議論の終結

(2) 国際標準の国防軍の保持

安倍首相は国民の92%が支持している自衛隊を憲法に明記しないで、危険な時だけ助けてくれと言つのは如何なものかと言つ発言をしている。安倍首相の善意は疑われないが、自衛隊は現状のままの憲法明記・2項温存では、追加の3項の表現に確り知恵を絞らない限り、上記の2項目は達成できないであらう。現状の自衛隊をそのまま憲法に明記したからと言って、一体何が実質変わったと言えるのか。今更言うまでもないことだが我が国の憲法改正は、制度上も政治風土上も非常にハードルが高い。仮にも護憲派世論の反対に臆して、このような案で9条改正がなされたとするならば、取り返しのつかない禍根を残すことになるに危惧している。憲法改正は何も9条だけではない。緊急事態対処条項

も必要である。他の改憲政党も教育の無償化、地方分権、一院制などそれぞれ改憲項目を表明している。このような状況下で宙ぶらりんな改正をした場合、向こう数十年間9条再改正は不可能になる恐れがある。

それは一般行政法の枠内のポジティブリスト方式での運用しか許されない自衛隊に国の安全を託すことを意味する。今喫緊の課題である北朝鮮問題が軍事的暴発なしに解決されたとしても、その背後には世界帝国を目指すもっと巨大な無法国家が控えている。このように我が国を取り巻く安全保障環境は、この先も更に厳しさを増すことが予想される。

今や我々は、9条の根本的改正を目指す覚悟を示す時ではないのか。英国国民は国の将来を左右する厳しい選択を迫られ、口で離脱の結論を出した。それが吉であるか凶であるかは今後に待たなければならぬが、いずれにしても結果は自己責任として甘受しなければならぬ。彼ら賛否いずれの国民も覚悟を示したと思っている。

筆者は60年安保世代で、国を二分するような騒動を大学生として経験している。昨今の安保法制騒動から想像しても、9条改正ともなればメディアの常軌を逸したフェイク報道、国の安全を度外視した野党の国会でのプラカード審議、これらに洗脳され仕組まれたデモで暴力化する国民など、安保法制時を上回る一大騒動が起きるであろうと思われる。然し過去に我々はあの60年安保騒動を乗り越え、今日の日米同盟を確かなものにし国の安全を全うした経験を有しているのである。

国内の分裂・騒動を恐れ9条の抜本改正を先送りにして、何時だったらそれが可能になると言うのか、今テレビでの流行語を借りれば、北朝鮮がミサイルと核の開発に狂奔し、背後で中国が尖閣奪奪の牙をむいている「今でしょ」となるのではないか。

英国国民に出来たことが我々日本人に出来ないわけがない、あの60年安保を乗り越えた我々に出来ない筈がない。70年間我々は憲法改正に真摯に向き合ってきた。

いまこそ9条の抜本的改正に向け、護憲派勢力とカチンカチン勝負の憲法改正論議を巻き起こす覚悟をしなければならぬのではないか。

5. 9条改正の文言(案)の提示

9条改正の必要性を唱える改憲派の有識者はそれなりにいるが、その具体的中身まで踏み込んだ人はあまり見かけない。その中であって概括的ではあるが内容にまで一歩踏み込んだのが、党総裁の立場で表明した安倍首相その人である。一國の首相総裁が、9条改正の中身まで踏み込み改正の意志を国民に示したのは、それにより国家・国民の独立・安全の責務を担う者としての覚悟を示したとすれば高く評価されていい。

2項を温存しての改正案は縷々述べてきたように筆者の本意ではないが、今そこにある脅威が待ったなしであることや憲法改正に関する政治環境を首相が勘案したであろうことを考慮し、首相の判断に沿った形での改正案を、厚かましさを承知で提案したい。提示は改正の文言の部分のみである。形は2項温存・3項追加であるが、中身は前4項で述べ

た2点(自衛隊台憲・違憲の不毛の議論の終結及び国際標準の国防軍の保持)を踏まえたものになっている。

「前2項の規定を踏まえ、主権国家としての自衛権を全うするため国防軍を保持する」

①の「が作成した憲法の9条2項に、「前項の目的を達するため」という所謂芦田修正が追加された。

これを受け占領期の極東委員会は、日本が自衛のための軍隊を保持すると察知し、「これが憲法66条に「文民条項」を追加する要因となった。

逆に言えば「文民条項」と引き換えに占領期の日本を管理する最高の政策機関が、自衛のための軍隊保持を認めたことになる。つまり極東委員会によって、自衛のための軍隊保持が担保された訳である。

また主権国家は自然権としての自衛権を保持している。

これは国際法上合意された概念である。芦田修正に対する占領期の極東委員会の対応も、当然この国際法上の概念の影響を受けていると判断される。

また憲法改正草案に関するマッカーサーノートに、自衛のための武力の保持も認めないと記述されていたが、民生局での草案作成の責任者であったケーディ

ス大佐は独断でこれを削除した。自然権としての自衛権までも否定しては、それはもはや国家ではなくなる、と言ったのが理由であった。(古森義久記者の独占インタビュー記事より)

自衛権には国連憲章51条で集団的自衛権も含まれている。

主権国家の自然権に由来する自衛権をうたうことによつて、2項の縛りを克服

でき、従つて追加の文言は2項とも整合が取れる。また教条的護憲派憲法学者を除けば、憲法学者の違憲論にも大方の終止符を打つことが期待できる。更に最大の懸案でもあり目的でもあった「自衛隊の国軍化」も担保されることになるであろう。

6. 終わりに

「憲法護つて国滅ぶ」、憲法を護ることが目的化しているとしか思えない野党・メディアによる執拗な洗脳の頸木から、国民を解放しなければならぬ。その事によってのみ国民投票での勝利の展望が開かれると思つている。昨年8月、当時自民党の憲法改正推進本部長の職にあった議員に、啓蒙運動の必要性とその実施について要望した。また本年5月3日の安倍自民党総裁の憲法9条改正案に沿った形で、本拙論にあるように「9条改正の文言(案)」を資料として、憲法問題に真摯に向き合っている或る参議院議員

に渡し、9条改正の中央突破と国際標準の国防軍保持を謳う改正案をお願いした。憲法改正なくして日本の明日は無い。自民党の本気度が試される。

~~~~~  
 巷間、「そもそも前文の『平和を愛する諸国民』がおかしい」とか、「〇〇条がおかしい」、拳句の果てに「安倍さんは憲法がわかってない」「などと云う。「アホか!」おかしいところをいろいろ言い出すと改正そのものが潰れる。大事なことはとにかく一字でも一句でも、先ず「変えた」という事実だ。安倍さんのジレンマを“村度”しよう!

# 各団体の等からの報告・ご意見

弊百人の会大橋寛至氏のお嬢様  
大橋実華さん  
盲学校弁論大会で全国準優勝  
H29-11-20 事務局

盲学校弁論大会で全国準優勝  
高3大橋さん加西市が表彰

2017/11/30 神戸新聞NEXT

兵庫県加西市は、第86回全国盲学校弁論大会全国大会で準優勝した県立視覚特別支援学校(神戸市垂水区)高等部3年大橋実華さん(17)に加西市田原町出身に市さわやか市民賞を贈った。

九会小学校(同市中野町)に通っていた大橋さんは2年の時、強度弱視になった。音楽が好きだったので、加西中学校で吹奏楽部に入部。クラリネットを担当したものの、先輩から楽譜を指さして質問されても答えられず、弱視を隠している自分に嫌気が差していたという。しかし、テレビ番組で難病でも強く生きる少女を見て、自分を変えようと決意。勇気を出して友達に協力を求め、吹奏楽のコンクールで金賞を獲得した。卒業後は特別支援学校に進学し、寮生活を送る。

6月に開かれた弁論大会の近畿地区予選で優勝。全国大会ではこれまで感じてきた思いを話し「今の私があるのは吹奏楽部での経験があったから」と語ったという。「中学時代よりも自信

自信が持てるようになった」と大橋さん。大会準優勝の副賞として贈られた中国旅行を楽しみにしている。(森 信弘)

皆さんは、「障害を受け入れて生きる」とは、どういふことだと考えていますか。今の私にとって、それは「ありのままの自分を隠さず生きる」ということです。

私は小学校2年生の時に、視神経髄膜炎という病気で突然、強度弱視になりました。しかし、子どもだった私は、深くは受け止めていませんでした。地元の中学に進学し、音楽が好きなのは、吹奏楽部に入部しました。楽器はクラリネット、演奏することは楽しく、楽譜が見えないため、暗譜をするなどの苦労はありましたが、毎日が充実していました。最高学年になると、パートリーダーを任せられ、責任感と、先輩の手下になりたいと、強い意気込みでいっぱいでした。

ある日、先輩が、「分からないところがあるんですけど」と、楽譜を指さします。しかし、音符が見えない私は、とっさに、「ごめん、そこ難しいやろ。私も分からへんねん」と答えてしまいました。その瞬間、先輩の前で、楽譜に目を擦り寄せて見るのが、悔しく、恥ずかしく、「私は目が悪いんだ」という現実がグサリと胸に突き刺さったのです。

合奏練習の時には、その場で楽譜を渡されることも多く、私が全く吹けなくてパート全体が叱られることもありました。自信を失った私は、自分のせいではないのに迷惑をかけていることがつらい。ただ、自分の心がいなさを責め続けてい

ました。自分が病気であることを隠したい。私なんて大嫌いだ。家に帰っても、「なんで私だけ目が見えへんの」「目が見えとったら、ちゃんと教えてあげれるのに」という思いばかりが頭の中を渦巻きます。「この思いを誰かに聞いてほしいけれど口に出すことはできませんでした。そんなある日、ふと、一本のドキュメント番組に引きつけられました。一人の重病になった少女が、「私が病気になつてつらい思いをしているのは、お姉ちゃんの代わりなんだ」と語っていました。ハッとしました。私には「なんで病気になるたのはお姉ちゃんじゃなくて私なんやろう」と思った時があったからです。彼女はなんて強いんだろう。その瞬間、何かがつきれたように

「病気になったのは仕方がないんだでも強くならなければ」と思いました。このままではいけない。ある日、勇気を持って同じパートの友達に、「数字見えへんから、針合わせてくれへん」とメトロノームを渡しました。するとその子は「うん、ええよ」とごく自然に答えてくれました。「こんなにも簡単なことだったんだ」。本当にうれしかった。友達の自然な態度に、体中の力が抜けるような安心感を覚えました。その時から、テ

ンポを変ええる時にも何気なく声をかけてくれるようになりました。そんな仲間たちと作り上げた音楽は、コンクールで金賞を取ることができました。一生忘れられない大切な思い出です。

高等学校は、視覚特別支援学校を選びました。毎日気を張って、必死で生きていくことに疲れていたのかもかもしれません。同じ障害を持っている人たちと生活したいと考えて入学しました。配慮ある

生活の中で安心して授業を受けることができ、のびのびと意見を言います。飾らない自分を出して過ごすことができました。しかし、この世界から巣立つ時は必ずきます。今の私に「ありのままの自分を隠さず生きる」覚悟はできていますでしょうか。私は自分の障害を完全に受け入れることができていると思います。白杖(はくじょう)を持つことに戸惑いがあったり、さまざまなか場面で「恥ずかしい」と感じてしまうことがあるのです。しかし、一歩ずつ、少しずつそんな自分を変えていきたい!と思いつつ生きています。

今の私があるのは、吹奏楽部での経験があったからこそです。この先もずっと音楽と関わっていききたい、演奏し続けて、音楽の素晴らしさを伝えていきたい。そして、たくさんの人々と出会い、人を大切に、心を通い合わせ、美しい心のハーモニーを奏でて生きていきたいです。

**国内団結が重要**  
船橋市 伊東孝司  
H29-11-4

ミッドの山口多門中将のご長男さんに宗敏氏がいる、氏は、神楽坂博物館(私設)館長であられたトキ、寝泊まりされていたおりいっぽんさげて夜通し飲んだことがある、氏はいわく「人生も商売も国家も、みな人の為すわざ。」  
くにつきあい国際も、組織も民間の回も、商売も郎党も、いついかな

マにも、さ・し・みの法則が歴然に有るよ、とよく言っていた。どういこうとかと言えば、何事にも、賛成の層・非賛成の層、そして中庸があつて、賛成非賛成どちらも3割、中庸が4割である、3割のさ、4割のし。瞬時しゆんかんに、優先の判断が名刺分ける、これが死活の重大、どの立場でも、そうだ、政治トップも家長も、そして常に冷静ゆつたり其のすがたは、普段の探求と啓もうが大切。社会も商きないも政治も、どこにおいても、いつにおいても皆そうだ！とのこと。

氏の父君多門さんの遺訓を受け、自分の今がある。君が知る”よろしき”俺、身に実もある・それで激高な身構えとなる、との弁でありました。

帝国軍隊の将らの平均知性(明治期大正期昭和の戦前までは、国家のエリートが軍隊に集っていた)は高かった、その上での勇氣と潔さである。総選挙勝利に浮かれる安倍総理ではないが、大勝は劣化のスタートとも言う。あの338対露戦争、勝利で終わるが東郷司令官(連合艦隊)解団式のモノイイが傑作である、それは訓示で示され、そこには凜も燦然もある。「勝つてカブトの緒をしめよー！」であります、今の安倍自民に、与党が引く導くところの国民団結への世論づくり、そのまっとう、絶対必要なであります

真田先生が説く二つの困難、その一つ、北への対応を深考するにおいてDの認識・奥の読み力を上げよ、が是非必要、を説いている。前提の概況概論決め認識まとめ事情を、認識の共有をミス把握してならない。ややくいこととは、P氏のロシア、トニカク

ことごとく、ものごとくは真逆をいつてきているということだ。伝統的に米がなすところの超大国政策は許容しない、しかし今事情は難儀あり、それは核大国にこつての北問題である。読み解きは理解すればシンプル、口国P氏の立場、その件で米の政策に賛成したいが直ちにはしない

ねらうは中東とのバスター、その効果強さとタイミング、その思考が常にある。日本にとっては、北の核ミサイル脅威が死活、米にとっては同盟国優先のポースの裏において北より中東(イスラエル)が優先する、米中駆け引き真実読み解きに、実は仕掛け穴あり、とんでもないKEYが潜むゆめゆめ、目をおろそか出来ない、重要中の要諦対露のデキ場面が現実になったときまず米は日本サイドには立たない、デイベートは明らかに中東。対策はある、我が国の国民防護、其れは、どこまでも肝心の第一”国内団結”である。

**烈士47年祭**  
11/27 広島 奥中正之

広島県安芸郡・多家神社の神楽殿において、11月26日、三島由紀夫・森田必勝両烈士47年祭が宮司奉仕のもと執り行われました。主催は、日本協議会広島県支部並びに三島由紀夫・森田必勝両烈士47年祭実行委員会です。

三島由紀夫・森田必勝両烈士の御霊に対して、憲法改正成就を改めてお誓い申し上げます。恐縮ですが私の献歌は：「命賭け烈士願ひし改憲を俎上に載せる時ぞ来たれり」

**沖繩で翁長知事を提訴**  
沖繩県政の刷新を求める会  
H29-11-20 錦古里正一

沖繩で訴訟もう一本  
翁長の公費での出張を認めない。公費を返せという裁判です。支援してください。弁護士は徳永先生、岩原先生、照屋先生(沖繩)です。 増木

**保守とリベラル**  
四宮政治文化研究所  
代表 四宮正貴  
H29-11-21

11/26 勉強会案内書より  
平成二十九年も年末を迎えました。今年を振り返ると内外情勢は決して安穩ではありませんでした。国内的には、総選挙で自公政権が勝利しましたが、政治家の資質にまつわる様々な事象が起りました。北朝鮮危機の中で行われた衆院選は、民主党が三つに分裂するなど混乱の中で行われました。この選挙では、「保守」「リベラル」という言葉に注目が集まりました。混乱する情勢を「保守」や「リベラル」というキーワードを使って読み解こうとしていたように見えます。

2017.11.19 産経  
国連演説の翁長知事を提訴へ 沖繩の有志 資格外で「公費返還を」  
翁長雄志(おながたけし)沖繩県知事が平成27年9月21日にスイス・ジュネーブの国連人権理事会で、参加資格がない「県知事」の立場で演説を行いたがら公務としたのは不当として、県民有志でつくる「沖繩県政の刷新を求める会」(江崎孝代表)のメンバー5人が21日、公費から支出された約96万円(渡航・宿泊費、日当など)の県への返還を求めて翁長氏を那覇地裁に提訴することが分かった。

5人は10月13日、地方自治法に基づき、県監査委員に住民監査請求を行った。しかし同27日に「1年以内の請求期限を経過した不適当な請求」として却下されたため、住民訴訟に踏み切ることにした。

詳細は、「狼魔人日記」にて  
◎二次訴訟原告募集！(沖繩在住者) 提訴事務局 070-5484-4617 錦古里正一(ニシノリ)

マスメディアは新党の位置づけを保守やリベラルという言葉で説明しました。また政党や政治家も自らの立ち位置・政治姿勢を「保守」あるいは「リベラル」と位置付けているようです。希望の党は「寛容な保守」を掲げており、一方の立憲民主党はリベラル政党として躍進しました。しかしこれまでの「保守」と「リベラル」という認識にも変化が出てきたようです。読売新聞の調査によると四十代以下は自民党や維新の會をリベラル、共産党や公明党を保守として捉えており従来の認識との間に断層があることがわかりました。従来の「保守」や「リベラル」といった言葉では現実の政治を正しく捉えられなくなっています。

# 杉田謙一の歴史・時事研究室

## 御即位大嘗祭は昭和・大正天皇時の先例を踏襲すべき 2017.11.27

### 読売新聞が伝えた。「即位の礼」経費削減案…陛下、国民負担に配慮

2017年11月27日07時17分  
天皇陛下の退位に伴い、新天皇が臨む即位の礼と大嘗祭について、それぞれ皇居の宮殿と東御苑で行う方向で政府が検討していることがわかった。

平成の例を踏襲する形だが、国民の負担に配慮される陛下のお気持ちを踏まえ、招待客や祝宴を減らして経費を削減する案も浮上している。

政府関係者によると、新天皇の即位は2019年5月1日が有力。大嘗祭は同11月に行われる見通し。外国元首らも招く即位の礼の主要な儀式は、平成は11月に行われたが、時期を早める案もある。新天皇が内外に即位を宣明する「即位礼正殿の儀」や祝宴「饗宴の儀」など即位の礼の儀式は宮殿で、「大嘗祭」は皇居の付属庭園・東御苑で行う方向で検討している。

以下略  
大嘗祭を進行される日がこの案となると、悠紀・主基斎田の選定地発表日は来年早々であろうか。すでに候補地への打診は終わっていることである。

「陛下のお気持ちを踏まえ」とする話

がすぐに出てくるが、陛下は常に国民への負担をお考えになられる方であり申し訳なきことではありますが、これは国家の国事にかかわる行為で、質素を基本になされたいとお気持ちを受けつつも政府は世界最長の王国にふさわしき即位式および皇室最大の重儀大嘗祭儀式を進行されることを願ってやみません。

30年前は新憲法下で初めての即位大嘗祭でしたので準備不足や法律解釈においての気弱な部分が見受けられました。即位式や祭礼もともに即位にかかわる重大行為であるとの見解を出し、すべてを国事と解して国の予算組を成していたいただきたいものです。少なくとも悠紀・主基西斎田では大正昭和天皇(即位時の例を先例として実施されることを強く望みたい。

不安は皇室会議に臨まれる諸氏の認識。代理出席権限を持つ人物に菅元総理がつくなど信じ難き人事であります。もっとやり方もあったらうに。注視しなくてはなりません。

事務局 増木

陛下のお気持ちは涙が出るほどうれしい。しかしいくら陛下のお言葉でも『御意』とは言えない。  
特別税を徴収しても盛大にやらなはいといけない。企業のタンスから出せ! というウルトラのもありかも!

東京都 落合道夫

1. 国威発揚  
天皇の即位は日本の国威を示すもの

だから先例にならって恥ずかしくないように盛大なものにしたい。

2. 予算問題

宮内庁が費用節約など、ケチなことをしているが、即位式の目的を誤解している。即位式は、英国の戴冠式に当たる国家の特別のハシの行事なので、内閣が伝統に従い、しっかり責任をもって進めていただきたい。

3. 宮内庁への要望

宮内庁は天皇や皇族のお名前を使うが止めてもらいたい。皇室は内閣府が守りしており、宮内庁は実務を担当しているだけである。皇室の方針は内閣が決める。最近、宮内庁は君側の奸ではないか、という不満が国民の間に広がっている。要注意だ。

## 第一次世界大戦以降の国際社会の外交 2017.11.26

日本が日英同盟を基軸に国際社会で重要さを増していた時代になったことは嘗てからの帝国主義の変質。それまでは統治する国からの収奪を基本とする帝国主義が世界の常識。領土保全とは制圧した国の権益確保を意味していたが、アメリカウィルソンの登場により支配地固定の原則が崩れ始め、交易の自由を各国が認め始める段階を迎えた。

しかしウィルソンの提案を本家のアメリカ議会が認めず、国連の結成にアメリカ自身がかわれなくなった段階で米国は信じ難し。米国の信用は失墜した。欧州各国はまだ、以前の帝国主義に立ち戻り始めた、つまり中国の各地は軍を置

く各国の占有地化へと後戻りしつつあった。各国の「勢力圏」には他国の投資を認めない流れが復活し始めた。それに対して日本は支配地域を固定する政策を各国に変更させて複数国資本の進出容認政策を打ち出して

これが国際的な新原則になっていた。議会の反対をつけ、米国の国際社会への参入が停滞したが、日本がその主張を引き継いで行く時代が第一次世界大戦後の世界であったとの時代認識レポート。

確かにありうる話だと拝察、日本の台湾統治は嘗ての帝国主義諸国にとっては驚愕に値する成果をだしていた。それに影響を受けないままの頑迷な西洋帝国主義国家ばかりとは思えない。とはいえずアメリカの野望は大陸においての橋頭堡の構築。各国との協調による進出よりも個別に交渉して有利な条件を手にする。これは今も変わらず、いっしょのTPPポイコットにも通じる政策。基本はモノロー主義。当時イギリスはアメリカよりも日本を信用していた節があり日英同盟もうまくいけば継続できた可能性もあった。これを崩したいアメリカ。結果日本はアメリカの策謀により敗戦の憂き目を見るのだが。

今後の我が国の世界戦略を組むうえでアメリカは良きにつけ悪しきにつけ、重要なしかも狡猾な国として現れるであろう。今度のはめられることなく、進めねばなるまいが、外交は2枚も3枚も上手。日本はもっと諸外国との良き交流を図るため、外務省予算を付けるべきで在ろう。外交の敗北は国益を損なう最大の要因である。今

のところが安倍外交は極めて順調。喜ばしきことではある。

新嘗祭(勤労感謝の日)おめでとう  
JUNCI KUROKI Hoto  
2017.11.23

勤労感謝の日おめでとうでございます。同時に今日は新嘗祭、新穀を神に献じ、陛下御自ら神と共に食される日。宮中において最大の祭りと考えられます。さて、神話の世界において最大の危機は天照大御神が岩戸がくれなされたこと。母イザナミのミコトがなくなられて自暴自棄になったスサノオノミコトが悪さの限りを尽くすのですが姉神天照大御神が怒った最大の原因は、神に供える服を作っている機織りの小屋に皮をはいだ馬を投げ入れる悪さをしたこと。これにはさすがに姉神も怒って、天の岩戸に隠れてしまわれたのでした。それほどに祭祀は神聖にして軽んじることができない儀式だとわかります。現憲法においても天皇の国事行為の一つに儀式を行うこととあります。ここでの「儀式」は即位の礼(皇室典範第20条)、大喪の礼(皇室典範第21条)、新年祝賀の儀などの天皇が主宰して行なわれる国家的性格を持つ儀式です、それ以外の儀式にも参列くださる。これは公的儀式と申せましょう。元始祭や皇霊祭など皇室の私事で行われるものは私的行為であり、費用も御手元金である内廷費で賄われているそうです。この資金が十分ならばよいのですがそうではないことは大問題です。

皇祖皇宗の祭儀や海外慰霊など陛下でなくては成しえない「行為」などは公的行事としてなされています。憲法に記載無き行為を廃せんとする勢力がもし政権をとればどうなるかわかりませんが、公的行事も改正憲法に明文化しておく必要があると思います。栄典授与についても自衛官を対象外にすることが法の下の平等や、職業に貴賤なし・選択の自由の大原則に反することではないか。国家国民の安寧のために訓練や国民救済の業務につかれ、不幸にして被災や殉職なされた自衛官への顕彰慰霊に關しても国民統合の象徴とのお立場にあられる陛下にかかわっていただけのように法的整備などなすは必要な事ではないでしょうか。国事行為にうたえないならば公的行為としてなし得るように正すのも重要な事。その公的行為を憲法の一項目にうたうべきでしょう。

さて、新帝踐祚の日程が1年半後の5月1日と決まりそうです。その後、即位式。そして最初の新嘗祭が大嘗祭。最大の儀式とされます。皇室の私儀としてはなりません。国家を挙げ国民こそ取り組む大テーマであります。オリンピック以上の一大国家プロジェクトであるべきものです。しかしその資金を国が予算化してくれるでしょうか。記念公園建設や施設の建立も議論されるべきでしょう。しかしそのためには国民の祝賀のうねりが必須。一年半などすぐに来てしまいます。来年正月は陛下御即位30年の開始の年。国はまだ全く動く様子が見えませんがならば民間で動かさねばなりません。今日の良き口を皇室を慕う多くの国民の手で奉祝活動を支えいく決意の日としたいものです。

変わるもの、永遠に変わるもの  
陛下への感謝の真心を  
2017.11.17

面陛下、島々に思い込め 47都道府県、今回で2度ずつ訪問 きょうから鹿児島巡る旅

天皇、皇后陛下が16、18日、鹿児島屋久島、沖永良部島、与論島を巡る旅に出られている。今回の同県訪問で即位後に全47都道府県を2回ずつ訪ねられることになる。宮内庁によると、今回の離島巡りは23年から検討。奄美大島と未踏の沖永良部島、与論島を回る計画だったが、陛下の心臓手術などのため取りやめられた。一方、噴火で避難生活を余儀なくされた口永良部島の住民を面陛下が気に留め、慰問を強く希望されたことで実現にこぎつけた。

陛下は昨年8月のお言葉で「人々の傍らに立ち、その声に耳を傾け、思いに寄り添うことも大切なこと」とした上で、「とりわけ遠隔の地や島々への旅も、私は天皇の象徴的行為として、大切なものと感じて来ました」と述べられた。

慰霊は沖縄本島が中心で、これまでに計10回訪問。沖縄戦の中でも激戦地とされる伊江島にも昭和51年に立ち寄り、慰霊の塔に供花された。戦後50年を前にした平成6年には「慰霊の旅」の原点となる硫黄島に赴かれた。

「お声がけの瞬間、瞬間に被災者からつらい思いが消えたように感じた」と振り返るのは、5年の鹿児島訪問時に町議で出迎え、11年には町議長として同行した新村卓実・奥尻町長(64)。「離

島もあって国が形作られている。離島に心を寄せる姿勢から、そんな思いをお持ちなのだと思われている」と話す。宮内庁幹部は「譲位の日が迫る中、今回の離島巡りも、象徴天皇のあり方を改めて振り返られる旅になるだろう」と推し量った。

――産経引用以上――

まことに畏れ多きこととあります。国民が過去の日本の苦難の時代を忘れ、太平を享受して日々の安逸をむさぼる中で、先の大戦や、その後の天災や人災による被災者の苦難の生活をお忘れになることなく、人々の心を安んじる為に全国に行幸下される。陛下をいただく日本人はなんと恵まれた存在であるかを改めて感じざるを得ない。慰霊にせよ、私のなしているのは全く形だけの偽物にすぎないのではないかと。陛下が常に被災者や戦死者、海外に眠られる人々への心の奥底からの鎮魂慰霊。これを成し継ぎながら陛下は限りなく日本人の魂魄を体現なさるかた、まさに「神」そのものの願いを自らの行動に体現なさっている方と申し上げるべきです。

ご即位後、何をおいても国たみの幸を第一にされ、神々との約束をたがえないように最大のご努力を尽くされることを使命と定めて見える。象徴としての責務とは何かを常に問われながら見える方こそ今上陛下であります。来年1月からは陛下の御即位30年めというまことに尊くありがたき年を迎えます。陛下にお支え頂きお守りいただいている僕らは何をもちて恩返しをすべきで在りましょう。

今日の新聞報道・ニュース等



吉村大阪市長&江淳子弊百人の会理事長

サンフランシスコ市長「交  
渉の余地はない」大阪市長、  
年内に関係解消へ  
11/24(金) 配信 MBS

サンフランシスコと大阪市は今年6  
0年を迎えた姉妹都市です。しかし、  
慰安婦像をきっかけに吉村市長は24  
日朝、その関係を解消すると明言しま  
した。

「信頼関係は完全に破壊されたと思  
いますので、サンフランシスコ市の姉  
妹都市を解消する」(大阪市 吉村洋  
文市長)

大阪市の吉村市長は24日朝、サン

フランシスコ市の慰安婦像が「市の公共  
物」になると正式に決まったことを受け、  
姉妹都市を解消すると明言。民間交流へ  
の補助金についても、止める考えを示し  
ました。

「民間のお金で交流するのは続けても  
らうたらいと思いますが、大阪市民の  
税を投入することはほしきと考えてい  
ます」(大阪市 吉村洋文市長)

大阪・阿倍野区にある国際交流団体  
「ユースコネクト」。サンフランシスコ  
の高校生を大阪に招き、日本文化を学ん  
でもらう取り組みを続けてきました。

「(姉妹都市を)解消してしまつたら、  
どうやって信頼関係を戻すのか。また何  
十年かかるといふんじゃないですか。道を開き  
ささない、対話を続けていくのがトップの  
責任ですよ」(国際交流団体ユースコ  
ネクト 久保井亮一会長)

吉村市長が一方的な主張だとする慰  
安婦像の碑文とは。

「この記念碑は日本軍によって性奴隷  
にされ『慰安婦』と呼ばれた何十万人の  
女性と少女の苦しみを表しています。そ  
の大多数は戦時中囚われの身のまま命  
を落としました」(像とともに設置され  
た碑文の一部)

リー市長はなぜこの像を「公共物」と  
して受け入れたのか。サンフランシスコ  
では人口の2割以上(21.4%)を中  
国系アメリカ人が占め、わずか1.3%  
の日系人をはるかに上回っています。当  
然選挙にも大きな影響力があり、リー市

長自身、市の歴史で初となる中国系の市  
長なのです。

大阪市の方針に街の声は…

「(大阪市の方針に)私は賛成。いつも  
日本人は言われればなしなので、言うこ  
とは言った方がいい」(男性)

「(姉妹都市解消は)私は残念だと思  
いますよ。もったいないですよ、なかなか  
60年間続く関係はないですよ」(女性)

「(サンフランシスコに)短期留学して  
勉強したことはあるんですけど。日本に  
対して好意的だったし、あの像に同意す  
るような考えを持たれるとは思えなかつ  
た」(女性)

吉村市長は市議会の意思表示などを  
確認したうえで、年内にも関係解消の手  
続きを完了させたいとしています。

自民・公明の大阪市議団に百  
田尚樹氏が怒り「日本人の名  
誉ほつたらかし」サンフラ  
ンシスコ市慰安婦像問題  
11/23(木) 産経

米サンフランシスコ市議会が、在米中  
国系民間団体が設置した慰安婦像と碑  
文の寄贈を受け入れる決議を可決した  
問題をめぐり、姉妹都市の解消を検討し  
ている吉村洋文市長(大阪維新の会政調  
会長)に対する大阪市の足並みが乱  
れている。22日、維新市議団は受け入  
れが最終決定した場合、関係解消に向け  
て動くよう要請したが、自民、公明両党  
市議団は解消に反対し、再検討を求める  
申し入れをしたのだ。市議会の「維新V  
S自民・公明」という対立構図が、事実

無根の内容で日本をおとしめる慰安婦

像・碑文への対応にも持ち込まれた形  
だ。こうした状況について、慰安婦問  
題に詳しい作家の百田尚樹さんは「市  
議会は一致団結してサンフランシス  
コ市に毅然とした態度を示すべきな  
のに、自民市議団などは党利党略で動  
いている」と強い口調で批判した。

サンフランシスコ市議会は14日  
(現地時間)に決議を全会一致で可決  
エドウィン・M・リー市長が24日ま  
でに拒否権を行使しなければ、自動的  
に受け入れが執行される。

大阪市の議会で5月と9月にサン  
フランシスコ市へ公共物化の再検討  
を求める決議案が提案されたが、提案  
者の維新をのぞく自民、公明、共産な  
どの反対で2度にわたり否決。吉村市  
長が姉妹都市解消の意向を示した9  
月以降、市議会として一致した決議や  
市長への要望などを検討していたが  
各党派の主張の溝は埋まらず、別々に  
申し入れを行った。

自民市議団の黒田富士(まさし)幹  
事長は申し入れ後、公明市議団の土岐  
恭生(やすお)幹事長とともに記者団  
の取材に応じ、「慰安婦像の設置、慰  
安婦の日制定には一貫して断固反対  
だ」と述べた上で、中国・韓国系団体  
による日米分離の思惑に乗ることは  
国益を損なうと指摘。国と連携しなが  
ら「解消ではなく交流の中で解決に向  
け努力していくべきだ」と申し入れた  
ことを明らかにした。吉村市長から前  
向きな回答はなかったという。

これに対し、維新市議団は、吉村市  
長が複数回にわたってリー市長宛て  
の書簡で懸念を表明し、拒否権行使を  
求めたり、日本政府としても同様の要

請をしたりしていることを挙げ、「市としても国としてもやるべきことは尽くしてきた」と強調。辻淳子幹事長は「一市長が公共物化を受け入れるのなら、姉妹都市解消はやむを得ないと思う」と述べ、吉村市長の意向を支持する姿勢を示した。

こうした市議会の状況について、百田さんは「大阪市や市議会はサンフランシスコ市に毅然とした態度をとるべきだ。お互いに親善の意を示してこそ姉妹都市。日本をおとしめようとしているところと姉妹都市を続ける理由はない。安倍晋三首相も政府として申し入れ、向こうの市長に拒否権を行使するよう要請しているではないか」と指摘。その上で「大阪の自民党の地方議員は『維新憎し』。それだけでサンフランシスコ市との姉妹都市関係の解消に反対し、日本人の名譽をほったらかしにしている。言語道断だ」と批判した。

◇ 自民、公明両党市議団による「サンフランシスコ市との姉妹都市提携解消に関する申し入れ」は次の通り。

我々は、サンフランシスコ市の慰安婦像・碑文の設置、及び慰安婦の日の制定に関しては、一貫して「反対」しております。

そのうえで、この問題については、国と綿密な連携を取り、姉妹都市の解消ではなく交流を通じて解決に努めることを求めます。

【理由】  
(1) 慰安婦像設置の問題は、サンフランシスコ市に留まらず全米に広がる

つつある状況です。こうした背景を受け、政府(外務省)も取り組みを進めており、地方自治体では計り知れないほど複雑な事案もあるため、地方自治体の行為によって外交交渉に影響を与えてはいけないと考えます。

(2) 慰安婦像設置の動きには、中国・韓国系の団体が全米で動いており、本来は日本とアメリカの問題ではなく、日本と中国・韓国の問題です。これは、平成27年12月に日韓両政府が発表した「最終的かつ不可逆的に解決すること合意がなされています。昨今の北朝鮮問題など東アジアの安全保障上の課題を考えると、日米同盟を強固なものにしなければなりません。外交・防衛上、中国・韓国系の団体の迷惑にのまことは国益に反することになります。

(3) 姉妹都市交流は、大阪市、大阪市民、大阪市民の長年にわたる不断の努力によって培われた財産です。吉村市長におかれましては、この60年という歴史を重く受け止め、姉妹都市の解消を検討するのではなく、姉妹都市の交流を更に進め、対話を通じた解決に向け努力すべきだと考えます。

以下、百人の会理事長辻淳子大阪市長(市会与党『維新』幹事長)を通じ、吉村市長に手渡していただきました

2019-11/24 名古屋市長 藤田 信一  
吉村市長がこの度、サンフランシスコ市との姉妹都市を解消される決断をされたことを強く支持します。

このような、碑文をサンフランシスコ市民の意志として示され、放置することはこの言葉を、日本国民として受け入れることに他なりません。恥ずかしい国民として

して生きることを強いられることになりません。

今後何かにつけ、この碑文の言葉を利用されることになるでしょう。安倍首相が、韓国と合意した、「不可逆的解決」も無力化されます。

誇りを失った国民は、いずれ国を失うことになり、国を失った民族は、ロヒンギヤのように、クルド族のようになります。日本国はチベット自治区、ウイグル自治区のようになります。誇りを傷つけられたことに、毅然として抗議の姿勢を示された、吉村市長を誇りに思います。なお、私は生まれてすぐに、両親に連れられ大阪に連れてこられ、22歳まで育った者です。大阪は私の故郷です。

2019-11/24 神奈川 谷辺勝啓  
吉村市長の態度を全面的に支持し応援します。

2019-11/24 芦屋市 井上哲夫  
吉村大阪市の英断を支持いたします(大阪市とサンフランシスコ姉妹都市関係を解消)。大阪市民、日本国民の再三の申し入れにも係らず、サンフランシスコ市長は、サンフランシスコ慰安婦碑寄付決議案を、自ら署名をして承認をいたしました。愚劣の極みであります。

吉村大阪市の益々の、御活躍を祈念いたします。

2019-11/24 大阪府議 上島一彦  
吉村市長と、辻淳子幹事長を、強く支持します。地方自治体の首長や議会が、毅然とした判断を示す事は当然です。

私の知り得る本物の自民党であれば、賛

成するはずですが？

2019-11/24 吹田市 平田 猛  
SF市の「慰安婦像」設置を巡る歴史戦における奮戦ありがとうございます。

SF市在住の同胞をはじめとする皆さまの努力にもかかわらず、SF市長が受け入れを積極的に受諾したのは、遺憾の極みで誠に残念なことでもあります。

今回は敗北ですが、歴史戦は単発一過性のものでなく単に通過点に過ぎません。次世代、次々世代等の将来日本を背負う日本人や日系人達に汚名を着せ肩身の狭い思いをさせるわけには行きません。100年戦争、200年戦争を覚悟して伝承して行く必要があります。支那や朝鮮半島の人々の言い分はでたらめオンパレードのプロパガンダに過ぎませんが、敢えて我々が学ぶ必要があるのは、国際的な仲間作り(攻撃対象の包囲網づくり)、超長期戦の覚悟、です。少なくともその能力と根気を持った相手と戦って行くのだということに十二分に自覚してかかる必要があると思います。今に始まったことではありませんが、残念ながらわが国は一枚岩になり切れておりません。

わが国の名譽と尊厳を犯す朝日新聞やNHKを初めとする売国奴メディア集団、日本の国体と歴史を軽んじ、国益の発想に欠けるカルト的リベラルの政治屋集団等々が勝手気ままに動き回り、日本国家と日本人の足を引っ張っております。本来であれば国家侮辱罪にて実刑に処してもおかしくない連中が火付け役となっている

ところも多々あると思います。されど  
ようやく日本人の多くが目をさましつ  
つあり、日本と日本人の歴史を奪回し、  
名誉を尊厳を取り戻さんと立ち上がり  
つつあります。引き続き日本の若きリ  
ーダーの一人として、改めて尽力の程  
お願い申し上げます。

大阪府 中谷良子

サ市が全会一致で慰安婦像の受け入  
れを可決しました。吉村大阪市長、な  
でしこアクションさん、ならびにサン  
フランシスコで精力的にご活動されて  
いた日本人有志の皆様にご改めて敬意を  
表します。

この件については、一大阪市民だけ  
ではなく、日本国民全体が本心に悔し  
い思いをされていることと思います。  
先程、読売テレビ『ニュースton』で  
の報道においては、朝日新聞の社説の  
ように揃って両市代表団の相互訪問、  
サンフランシスコ・大阪姉妹都市協会  
主催高校生アンバサダープログラム派  
遣生の受入れなどを断ち切るようなこ  
とをしてよいのかというような報道  
内容でしたが、そもそも反日勢力によ  
る全世界における慰安婦利権の実態を  
全世界に周知するのが報道の役目では  
ないでしょうか。

日本人が先人の汚名、ひいては今を  
生きる日本人男性の名誉を汚すことに  
憤りを覚えるのは当たり前であり、過  
去から現在まで日本政府や外務省はお  
となしく要求を呑み込み、なかつたこ  
とを既成事実化され、プロパガンダ化  
されてきました。このまま、対話重視  
と相手の要求や都合を呑み、顔色ばか  
り伺い、悪い血を脈々と受け継いでい

く姿勢を許すことはできず、もう私達の  
世代で終止符を打たなくてはなりません。  
慰安婦像の設置は今後も、どんどん  
増え続け、記念日の制定まで進行してい  
ます。自民大阪府連・公明党・共産党は  
恥を知れ。日本政府はこの責任をどう取  
るおつもりでしょうか。

日本国民の皆様、今後は吉村大阪市長  
へのバッシングがなされると思います  
が激励の声を上げてください。

何度も言いますが、これは韓国と日本  
の問題ではなく、北朝鮮と支那による壮  
大な農です。

東京都町田市 永井 均

前略 2017年(平成29年)11  
月16日付け読売新聞に掲載されまし  
た記事「大阪市長、提携解消の構え 米  
サンフランシスコ市 慰安婦像受け入  
れ」を拝読しました。よくぞ、ご発信し  
て呉れました！ 深甚の敬意を表しま  
す。

昭和20年8月敗戦後、NEXA・一部  
民放・新聞社・月刊誌・週刊誌等が報じ  
て来て居る所謂捏造史実に多くの善良  
なる日本国民が、惑わされて来て居りま  
す。これ(捏造史実)を完全に排除しな  
い限り、日本の真の夜は明けない?!と  
想って来て居ります。一日本国民として  
看過し得ない捏造史実を完全に排除す  
べく、私的に細々と活動を継続して来て  
居ります。近い過去に於ける私的発信文  
書の一部の「レ」を同封致します。

現日本国に普遍的国家思想が在る?  
とせば、それに立脚した、国家規模のイ  
ンテリジェンス活動を自由民主党が主  
導・実施すべき!と切望して来て居りま  
す。インテリジェンス活動の実働員が少

なければ、あらゆる方策を講じて増員す  
べきと切望します。武器を使つての戦  
争・紛争は、現世界情勢では、馴染まな  
いので、インテリジェンスで実質勝利を  
得る!のが、現世界での主流であると想  
つて居ります。草々

**朝鮮学校無償化を勧告 国  
連人権理「差別なく平等に」  
11/18(土) 配信 サンケイ**

【時代の正体取材班「石橋 学」】日本の  
人権状況を審査する国連人権理事会の  
作業部会は16日、218項目からなる  
勧告を発表した。高校無償化制度の対象  
から唯一除外されている朝鮮学校に制  
度を適用するよう求める勧告が初めて  
盛り込まれた。

16日に採択された勧告は「すべての  
学校に無償化制度を適用せよ」「社会権  
規約委員会と人種差別撤廃委員会の勧  
告に従い、マイノリティーの子どもたち  
の教育権を差別なく確保せよ」「関連条  
約機構の勧告に従い、朝鮮学校への平等  
な扱いを確保せよ」などと求める。朝鮮  
学校の排除を差別と批判し、是正を求め  
た13、14年の国連社会権規約委員会、  
人種差別撤廃委員会の勧告を無視する  
日本政府への非難を含めた内容となっ  
ている。

高校無償化制度は民主党政権下の1  
0年に始まったが、朝鮮学校は適用が留  
保され、12年に発足した安倍晋三政権  
が審査を打ち切り不適用を決めた。当時  
の下村博文文科相は記者会見で「拉致問  
題に進展がない」ことなどを理由に上げ  
ていた。

14日の日本審査会合ではポルト  
ガル、パレスチナ、オーストリア、北  
朝鮮が制度適用や教育権確保に言及。  
これに対し日本政府は「法令の趣旨に  
のつとった判断。民族差別や教育権の  
侵害にはあたらない」と答弁していた。  
人権NGOが参加した10月の事

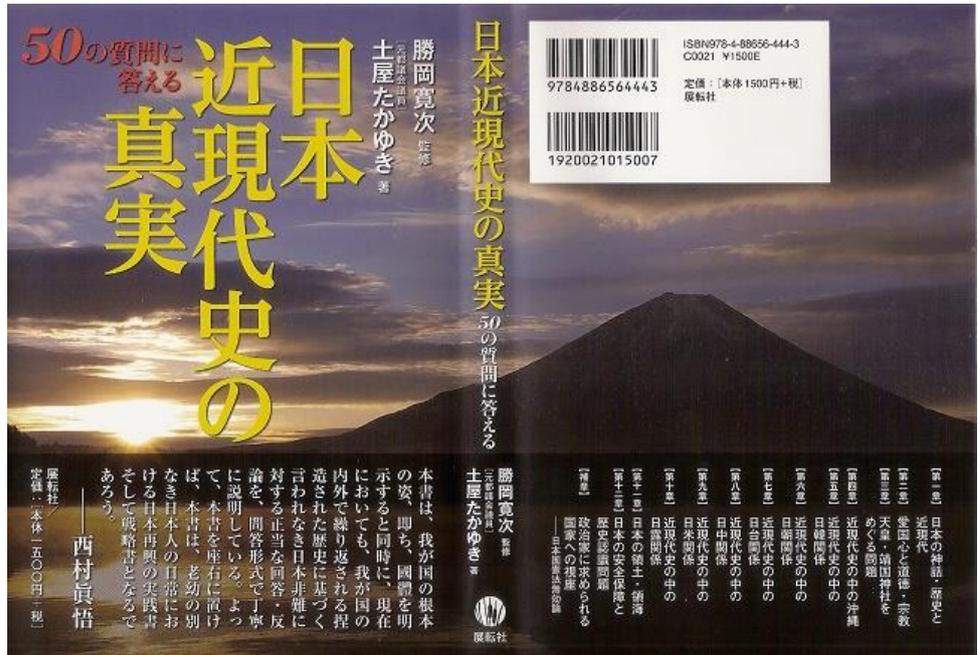
前会合で、朝鮮学校が置かれた現状を  
各国に説明した在日本朝鮮人人権協  
会の朴金(パクキム)優綺(ウギ)さ  
んは「すべての子どもたちの学びを支援す  
る無償化法の趣旨に反し、政治的理由  
で朝鮮学校を排除しているのは国際  
社会の目からも明らか。これまでの勧  
告に従っていないことを踏まえた勧  
告を重く受け止め、速やかに制度を適  
用すべきだ」と話している。

**貧富による学力差は「小4  
から拡大傾向」  
11/20(月) 読売新聞**

経済的に困窮している世帯とそう  
でない世帯の子供の学力格差が小学  
4年生頃に広がる傾向にあることが  
わかった。

大阪府箕面市が2014〜16年  
度、小中学生らを対象に実施した学力  
や生活状況の調査データをもとに、日  
本財団(東京)が分析した。同財団  
は、箕面市の生活保護受給世帯とそれ  
以外の世帯の小学1年生〜中学2年  
生約1万人について、同市が14〜1  
6年度に実施した国語や算数・数学な  
どの学力テストの平均偏差値を比較  
した。市の困窮する子供への支援策を  
検討するため、同財団で分析した。

今日の推薦図書2題



ISBN978-4-88656-444-3  
C0021 ¥1500E  
定価: [本体 1500円+税]  
出版社  
9784886564443  
1920021015007

日本近現代史の真実 50の質問に答える

勝岡寛次 監修  
土屋たかゆき 著

日本近現代史の真実  
元東京都議 土屋たかゆき

◎内容詳細  
目次日本の神話・歴史と近現代／愛国心と道徳・宗教／天皇・靖国神社をめぐる問題／近現代史の中の沖縄／日韓関係／日朝関係／日台関係／日中関係

本書は、我が国の根本の姿、即ち、國體を明示すると同時に、現在内外で繰り返される捏造された歴史に基づく言われない日本非難に對する正当な回答・反論を、問答形式で丁寧に説明している。つまり、本書を座右に置けば、本書は、老幼の別なき日本人の日常における日本再興の実践書として戦略書となるであろう。

西村眞悟

の源泉を、理屈ではなく、血に根ざす実感として保持していなければならず、その源がまさに「神話」であるからだ。さらに、我が民族の根源の姿を血肉化して己の力として、現在の日本の危機を克服しようとする者ならば、「ルディアスの結び目」を剣で一拳に切断して数百年の呪縛を説いたアレキサンダーのように 以下略

世界が称賛する日本の教育  
『国際派日本人養成講座』編集長  
伊勢雅臣

人づくりは国づくり  
歴史に育まれたNipponの知恵  
今こそ日本の伝統的教育に学ぼう！

日本の伝統的教育はその手法と成果が国際的にも高く評価されている。だが、今の日本では、いざ「教育改革」となると途端に「アクティブ・ラーニング」等の横文字が躍り出す。伝統のよさを見直して取り入れることより、舶来の新品「がいまだに珍重されるのだ。本書は、国際派ビジネスマンとして長く海外に暮らしてきた著者が、世界が称賛する「日本の教育」の実像と要諦を、説得力のある実例とともに紹介する。

- ◎日本の伝統的教育は、究極の「アクティブ・ラーニング」である！
- ◎古典教育が日本の近代化をもたらしたという逆説
- ◎江戸日本はポランティア教育大国だった
- ◎「教育勅語」——世界人類に共感される広やかな道
- ◎子どもを伸ばす漢字教育
- ◎親学のすすめ——母の

世界が称賛する日本の教育  
JAPAN ON THE GLOBE  
Masaomi Ise  
伊勢雅臣  
国際派日本人養成講座・編集長

世界が称賛する日本の教育  
ISBN978-4-594-07776-1  
C0095 ¥1500E  
発行: 育書社  
発売: 扶桑社  
定価: [本体1500円]+税  
9784594077761  
1920095015002

人づくりは国づくり  
歴史に育まれたNipponの知恵  
今こそ日本の伝統的教育に学ぼう！  
5万1千人が愛読する『国際派日本人養成講座』ベストセクション第4弾  
定価: [本体1500円]+税 育書社

愛で子は育つ  
◎学力・体力トップクラス——福井県の子育てに学ぶ  
◎国語力が「壁を乗り越える力」「共に生きる力」を養う。  
【著者プロフィール】  
伊勢雅臣(いせ・まさおみ)  
創刊20年となる殿堂入りメールマガジン『国際派日本人養成講座』編集長。国際派日本人4万6千人を育てている。昭和28(1953)年東京生まれ。

# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## NPO法人百人の会

●第33(通算100)回定期理事会  
平成30年2月中旬(土)1時半〜  
(1月10日頃決定予定)

●第32回定期理事会報告  
平成29年11月24日(土)  
大阪市立中学校校長より現場報告

「議員は行政(教育委員会)の声だけでなく、現場の声も聴いてほしい。」  
(詳細は次号でレポート)

【理事会】2〜3か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。理事会は一般のご出席も大歓迎です。

## 英霊を被告にして委員会

### ●米国大統領に靖国参拝を!

靖国問題(中国の差しで口)を一気に解決する方法、それは米国大統領に靖国神社を参拝してもらうこと。そのことを駐日米国大使館を訪問し、お願いしたいと思えます。現在訪問申請書を作成中!

### ●裁判進捗状況

【東京】第122回口頭弁論(判決)  
東京地裁 H29-4-28 完全勝訴。  
敗訴した原告が控訴。1月に東京高裁で期日協議が開かれるとのこと。まだ、相当時間がかかりそうです。

【大阪】第3回口頭弁論(判決)  
大阪高裁 H29-2-28 完全勝訴

現在原告上告中、最高裁判断待ち

## 憲法一条の会

### ●即位式は盛大!

平成31年9月1日に即位式が行われることが決まりました。憲法一条の会は、盛大に即位式が行われるよう各方面に働きかける活動を開始していきたいと思います。

## 編集後記

一月ほど前、仲間のMママよりかんかんになって電話があった。御子息の三男君(小)が伊勢に修学旅行に行ったが、伊勢神宮に行かずデスニールランドのお孫さんみたいな、「志摩パルケエスパニーヤ」に行くという。なんだそれは!

早速三男君の通っている大阪市立小学校に電話をした。校長は修学旅行生を引率して現地に行っている。先ず、電話に出た先生がおかしい。行先の確認をしようとしたが、「部外者に子供たちの行先は言えない。」エッ、公立小学校の修学旅行でしょ。まずこの段階でコケた。対応(物言い)が乱雑。こっちも声が荒くなる。押さえて押さえて!「じゃあ校長が帰られたらお電話いただけませんか。」

「それはできない。そこから電話をかけてこい。」この先生、今まで電話受付したことないのだろうか。貴方の言い分はわかったから、取りあえず校長に伝えてくれ。連絡がなければ次を考へる。と

電話を切った。「先生方は頑張っている。」と先日ある校長から聞いたばかりだが……。この人は特別だったと思羽陽にしよう、

さて本題。3日ほどして校長から電話があった。そして行先は伊勢方面で、「志摩パルケエスパニーヤ」。伊勢神宮は行かなかつたという。「修学旅行の目的は何ですか」「伊勢地方の文化や歴史、地元の人と触れ合い、風土を学習する。」不肖増木、だんだん熱が出てきた。思わず、「日本の伝統を学ぶんですか、スペインの伝統を学ぶんですか。」と聞いてしまった。日本の伝統と文化だということ。

## 活動資金(協力)のお願い

郵便振替 0980-8-245547 MASUKI情報デスク  
口座番号 099-0245547 MASUKI情報デスク  
三菱東京FJ銀行 玉串支店 0044349 普通 増木重夫

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。マスキ情報デスクは後記団体に縁のあった人の名簿を管理し、「M情報活動報告」を毎月全国約5千(目標1万)部(議員4割)発送しています。

私も子ども子供達に誇りある国を残すため必死で戦っています。ところが問題は活動資金。何卒ご協力をよろしく。※このM情報は特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

## 原稿・同封資料の募集

本紙に掲載ご希望の論文、情報等とごん表記事務所までお送りください。また、弊紙は郵メールで発送し、重さ制限は50gです。また余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

## メール配信について

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から情報を送られてきます。それをメールで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを(発信名義「NPO法人百人の会」)。

◇ カンパ金の主な使途は、下記サポート団体の、活動の資料等の発送費・道路、公園使用料・交通費、通信費・資料、CD等の制作・備品購入費等  
OM情報が管理・サポートしている主な団体  
・NPO法人百人の会  
・救う会大阪  
・憲法一条の会・英霊を被告にして委員会、その他  
◇ 前記口座、または同封の郵便振替「」ご協力ください。